
たこ焼き

檜原りんご

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たこ焼き

【コード】

N6053G

【作者名】

檜原りんこ

【あらすじ】

私の、たこ焼き。転がっていつてしまったあなたへ。許してください。超短編小説。筆者、デビュー作。

(前書き)

大真面目です。

私の、たこ焼き。

あつ、と思った時にはもう遅い。

転がりゆく、あなた。

私が屋台で500円を出して買った、特大たこ焼きは爪楊枝のもとを離れて飛び立ち、私の上等なスカートを可憐に汚して。そして。

あっけなく地面に着地してしまった。

私が恐怖でオロオロしているうちに、3秒ルールも破れ、もう食べ物として為さなくなってしまう。ぐしゃぐしゃになって、見るも無惨なあなた。

ああ、私のたこ焼き。

どうしてあなたは離れてしまったのか。

いいえ、分かっています。私が後輩のドレス姿の、あまりの可愛らしさ故に目を奪われたその一瞬、それにあなたは嫉妬した。だから私のスカートをわざわざ汚していったの。

そしてたこ焼き、あなたはなんでも受け入れてくれる、地面に恋をした。

それにしても、大胆なあなた。

自ら飛び込んでいくなんて。

ああ、私のたこ焼き。

あなたは私の大切なものを、奪っていった。私の一張羅のスカート。あなたを救助することに命をかけた、先輩の食べる時間。

ああ、私のたこ焼き、あなたに許しを乞います。

後輩のあまりの可愛らしさに揺さぶられた、私の弱き心が、あなたを傷つけてしまった。

それは、取り返しのつかないこと。

あなたのお怒りの気持ちは察しております。

それでも、ああ、どうかお許しください。

次こそは、あなたから一秒たりとも目も心も離しませんから
…

(後書き)

辛い評価待ってます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6053g/>

たこ焼き

2010年12月7日14時42分発行